

多文化共生論

担当教員： 山口 健一

履修年次・区分： 2年（専門－基幹－必修）

授業のテーマ： 異文化の他者たちが出会い相互行為する現代日本社会における「共生」の重要性について講義する。日本社会において「共生」が着目されるようになった背景、さまざまなマイノリティと異文化のマジョリティ集団との間で発生する葛藤の歴史と現状を講義しつつ、「共生」理念の意義と限界の理解を深める。また、日本社会において実践されるさまざまな多文化共生の事例を紹介する。

この日の授業内容： 偏見 差別 共生



「差別と聞いて、どんなイメージを持ちますか？」大講義室で行われる授業ですが、時々こんなところまで来て質問されるので、学生にも程よい緊張感があります。酷い、悲しい、やっちゃいけない、なくすべき、面倒くさい、など色んな意見を反映させて授業が進みました。

言葉による価値観や行動様式の総体が「文化」であり、人々は言葉によって経験的世界を理解する。すなわち、自分が属す文化によって理解の仕方が異なる。山口先生のテンポの良い説明に、学生たちも頷きます。

(2014年5月取材)